

リリースノート — FS4 ファームウェア v1.2.0.7

Firmware for AJA FS4

全般

この FS4 ファームウェア v1.2.0.7 は 機能追加と複数の問題改善を含みます。

新機能

- ・ HDMI モニター出力に 8 チャンネルオーディオのサポートを追加

改善点

- ・ SDI 入力をリファレンス信号の入力として選択した場合のビデオ出力の問題を修正
- ・ SDI 入力がない状態におけるビデオ出力フォーマットやテストパターンの選択を変更できなくなる問題を修正
- ・ SD/HD/2K から UHD/4K に full screen でアップコンバートする際の変換の問題を改善
- ・ 外部リファレンスを使用する際のビデオ出力タイミング精度を改善
- ・ UHD/4K フォーマットで Loss of Input を Black に設定した際の挙動を修正
- ・ Web UI で proc amp controls を使用して信号調整を行った際に発生するチャンネル選択の問題を修正

FS4 ソフトウェアのアップデートについて

AJA FS4 は工場にてソフトウェアがプリインストールされますが、AJA の Web サイトに掲載される最新のソフトウェアではない可能性があります。以下のセクションでは、AJA FS4 のソフトウェアをアップデートするために必要な手順について説明します。

最新のFS4ソフトウェアをダウンロードする

現行および過去の AJA FS4 リリースソフトウェアは、以下の AJA Web サイトから閲覧およびダウンロードでの入手が可能です。リストから最新のソフトウェアファイルをダウンロードしてください。

<http://www.aja-jp.com/downloads/category/94-fs4>

ソフトウェアの展開

FS4 のソフトウェアアップデートファイルは zip ファイルですので、解凍ソフトを使って解凍してください。FS4 にインストールするソフトウェアのファイル名は次のようになっています。

“FS4_ver_1.0.0.0.bin”

注: PC または Mac OS の設定によっては、拡張子 "bin" は表示されない場合があります。

zip ファイルに含まれているマニュアルやリリースノート等のファイルを開いて、更新やアップデート情報を確認してください。

FS4 ソフトウェアのアップデートとインストール

Mac および Windows と Ethernet 接続するだけで、アップロードとソフトウェア更新プログラムをインストールすることが可能です。ソフトウェアのインストール手順は以下の通りです。

1. Web ブラウザから FS4 管理画面 (Web UI) へアクセスし、画面左側のナビゲーションボックスの下にある Update Firmware リンクをクリックして、FS4 のアップデートページを開きます。Web UI へのアクセス方法は、FS4 のユーザーマニュアルを参照してください。
2. Browse... ボタンをクリックして、あらかじめダウンロードしたファイルを選択します。
例：AJA からダウンロードした zip ファイル内の FS4_ver_1.0.0.0.bin
3. OK をクリックしてファームウェアをアップロードします。ファイルが FS4 にアップロードされ、有効性が確認されます。不完全であったり、FS4 のファイルでない場合は拒否されます。
4. アップロードが終了し、プロンプトが表示されたら Commit Uploaded Firmware をクリックし、プロセスが完了するのを待ちます(プロセスは数分間で完了します)。完了後、再起動を促すプロンプトが表示されたら”再起動”ボタンをクリックして FS4 を再起動します。再起動の進行状況は FS4 のフロントパネルに表示されます。再起動後、FS4 は新しいソフトウェアで動作し、フロントパネルに「Status」メニューが表示されます。
5. 以上の手順が完了すると、起動した FS4 のステータス画面の Software Version に新しいバージョンが表示されます。FS4 の構成はアップグレード前の設定が保持されます。FS4 の Web UI をリロードし、新しいソフトウェア が動作していることを確認してください。ソフトウェアのバージョンは FS4 の Web UI 画面の一番上に表示されます。FS4 のアップデートが失敗した場合は、アップデートの手順をもう一度やりなおしてください。

注：ソフトウェアのダウンロード中に停電や不具合が起きた場合、FS4 は保存されている古いバージョンで起動するので、アップデートの手順をやりなおすことができます。これは FS4 が以前のソフトウェア内部に “safe” copy を保持するアップデートイベント時の安全機能が搭載されているためです。